

◆病院図書室ネットワーク紹介◆

福島県医療機関図書室協議会について

小沼 あゆみ

I. はじめに

福島県医療機関図書室協議会（以下、協議会）は、1985年に福島県立医科大学附属図書館のよびかけで「大学図書館と基幹病院図書室とのネットワーク形成のための懇談会」として、9機関からスタートしました。

その後、1989年に「福島県医療機関図書室協議会」と改称し、2014年には30周年を迎えました。加盟機関も発足時の9機関から、現在の32機関（うち、大学3機関、医療系専門学校1機関）に増え、文献相互貸借業務の他、相互間協力の推進、資質の向上を目的として、医療の進歩に貢献できるよう活動しています。

II. 活動内容

協議会の主な活動としては、年1回の定例会（研修会）及び夏休みセミナーの開催、会報「きびたき」の発行、文献相互貸借のためのWeb目録「福島目録」、そして会員限定で利用できる情報交換の場として、Googleグループを利用した「Kibitaki-net」の運用などがあります。

これらの情報は、随時更新されホームページで公開しています（図1）。

ONUMA Ayumi
福島赤十字病院

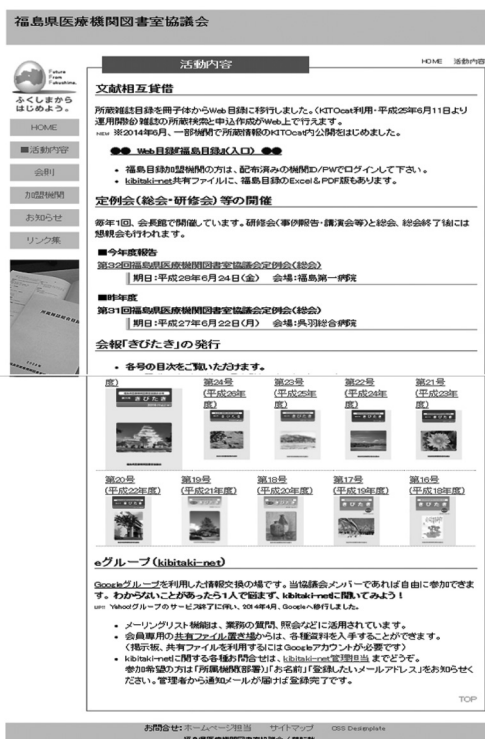


図1 ホームページ

1. 定例会（研修会）及び夏休みセミナーの開催

年1回開催される定例会（研修会）では、外部講師による講演や、会員の事例報告、加えてグループワークや図書室見学など、有意義なプログラムとなっています。

特にグループワークでは、初めて図書室業務を担当する新人の方から、知識経験ともに豊富なベテランの方までが一堂に会して学べ

るとも貴重な場であり、日々の業務を見直しさらなる向上を図る、とても良い機会となっています（図2）。

また、夏休みセミナーでは講義だけでなく、実際にパソコンを使用するなどの演習も行うなど、実践に即した内容が毎年大好評です。

2. 会報「きびたき」の発行

会報「きびたき」は、年1回を基本として、現在までに第25号まで発行しています。

編集委員会を中心に、総会、事例報告、会員図書室の近況報告や、「図書室めぐり」と題して各病院の図書室紹介をシリーズ連載するなど、内容の充実を心掛けています。

3. Web 目録「福島目録」の導入

文献を入手する際、欠かすことのできない情報源である雑誌目録を、協議会では2013年6月より Web 目録「福島目録」として、冊子版から Web 版へ移行しました。

これにより、検索時間の短縮や配架スペースの削減が可能となり、担当者だけでなく利用者にとっても、よりよい環境となりました。

4. 「Kibitaki-net」の運用

2014年4月より、Google グループを利用した情報交換の場として、「Kibitaki-net」の運用が開始されました。

ここでは“わからないことがあったら1人で悩まず、Kibitaki-net に聞いてみよう！”をモットーに、担当者の情報共有及び、お悩み解決場所として、有効に活用されています。

Ⅲ. おわりに

急速な時代の流れと共に進むインターネットでの情報共有や、雑誌の電子化など、図書担当者に求められるスキルは多岐にわたりますが、少しでも図書室が医療の進歩に貢献できるよう、今後も努めていきたいと思っております。



図2 第32回福島県医療機関図書室協議会定例会